

令和4年

総務委員会

8月25日

豊明市議会

総務委員会会議録

令和4年8月25日

午前11時10分 開会

午前11時39分 閉会

1. 出席委員

委員長	青木 亮	副委員長	いとう ひろし
委員	ごとう 学	委員	宮本 英彦
委員	鵜飼 貞雄	委員	ふじえ 真理子
議長	三浦 桂司		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井 俊一	議事課長	塚谷 友昭
議事担当係長	寺島 慎二	議事課主事	松林 淳

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
行政経営部長	小串 真美	教育部長	藤井 和久
公共施設管理課長	中田 勝次	財政課長	萩野 昭久
学校教育課長	高木 安司		

5. 傍聴議員

堀内 ちほ	服部 龍一	中村 めぐみ	林 ゆきひろ
近藤 ひろひで	郷右近 修	清水 義昭	近藤 郁子
月岡 修一	毛 受明 宏	近藤 千鶴	一色 美智子
近藤 善人			

6. 傍聴者

1名

午前11時10分開会

○総務委員長（青木 亮議員） ただいまより総務委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆さん、お疲れさまでございます。

本日の総務委員会に付託されました案件は2つの議案でございます。慎重な審査をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（三浦桂司議員） 先ほども審議が結構ありましたけど、質疑もありましたけども、大宮小学校のプレハブの買入れと空調設備、市内の施設の空調設備の更新ですので、慎重審議、お願いいたします。

○総務委員長（青木 亮議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（青木 亮議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○総務委員長（青木 亮議員） 本日の傍聴につきまして、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されるようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

初めに、議案第55号 財産の買入れについて（大宮小学校校舎）を議題といたします。

本案件について、理事者の説明を求めます。

中田公共施設管理課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） それでは、議案第55号 財産の買入れについて御説

明いたします。

下記のとおり、財産の買入れをするものでございます。

物品名、大宮小学校校舎。

納入場所、豊明市立大宮小学校。

数量は、1棟。

買入金額は、4,213万円。

買入先は、名古屋市千種区仲田二丁目15番8号NTビル10階、株式会社内藤ハウス、名古屋支店、支店長、海川敬一でございます。

契約の方法は、8社の指名競争入札でございます。

この案を提出しますのは、大宮小学校におけます多目的に活用する教室が不足していること及び放課後子ども教室を当該校内に設けるため、新たに校舎設置の必要があるからでございます。

以上、議案第55号 財産の買入れについて説明を終わります。

○総務委員長（青木 亮議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 じゃ、55号について。

本会議場でも的を射た質疑がありましたので、その点以外で1点だけお願いします。

今回の買入れ金額の4,200万円余ですけれども、これは、施工費用というか、施工するまでの金額という理解でいいでしょうか。また、そういった場合は、施工するのもこちらの内藤ハウスさんがやられるのか、お願いいたします。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） お答えいたします。

施工も含めて、あとは確認申請等、申請作成料、手数料も含めてでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちょっとごめんなさい。さっき聞いてたのが、施工も内藤ハウスさんがやられるという理解でいいですか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

いとう副委員長。

○いとうひろし委員 建物は、先ほどプレハブということだったんですけれども、軽量鉄骨による、そうした場合は、普通の一般的な建物よりも、これは放課後子ども教室をいち早く造っていただくためにはやっぱり工期も大事だと思うんですけども、一般建築に比べて軽量鉄骨のプレハブは工期が短くて、いつ頃完了予定でしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 工期についても多少考慮した部分もございます。

それと、完成は令和5年2月末を予定しております。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 施工もこの内藤ハウスさんが行うということですので、内藤ハウスさんというのは、プレハブの販売、施工も同時にやれるという、どれぐらいの信用度合いでしょうか、内藤ハウスさん。ここは名古屋支店ですけど、全国規模の企業さんなんでしょうか、買入れ先。内藤ハウスさんの会社の概要について、分かる範囲内でお願いします。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） では、会社の概要について申します。

北海道、沖縄を除き、支店、営業所はございます。本社は山梨県でございます。創業は昭和42年で、資本金は1億。売上高は203.6億円。これは、全て2021年8月期の公表されているものでございます。

あとは当期純利益なんですけど、これは会社の信用とか示すものの1つ、指標になると思うんですけど、これは、内藤ハウス様の財務諸表からなんですけど、2億3,772万6,000円でございます。ただし、内藤ハウス様が8月末が決算ですので、これは前期の純利益ということで御理解いただければと思います。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 事業内容は、プレハブ販売専門なんですか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） すいません。失礼しました。

会社概要によりますと、プレハブ建物の製造販売や建築物の設計、工事監理、土木工事が該当しますので、施工の信用に足るものだという理解をしております。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの工事期間の御質問もあったんですけども、令和5年2月末完了予定ということで。そうすると、3学期に入ってから工事が始まるというような理解でいいんですか。工期。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 現在予定していますのは、遅くても11月の頭からは現場に着手しようという予定でしております。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほど、本会議の質疑で間米区画整理が計画されておって、今後、人口増あるいは生徒増が見込まれると思うんですけども、そういうものをどういうふうに見込んでいるかというような質問に対して、それは教育委員会のことだというようなことで答えがありませんでしたけれども、そのことについてのお答えはいただけないんでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、学校教育課のほうから答えさせていただきます。

現在、今言われておる間米の区画整理につきましては、地域としましては二村台小学校学校区になりますので、今のところ大宮小学校に入るということは想定しておりません。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 あまり深くはあれですけども。

今の場所は、先ほど本会議質疑でもありましたように、今、区画整理を予定していると

ころは大宮小学校に近いですし、それから、二村台小学校は非常に外国籍児童も多くて、困難校と言ってはちょっといかんかもしれませんが、難しいところだということで、いち早く35人学級にしたというようなこともあるんですけども、そちらへ全部子どもを入れる、今、計画だということですけども、そういう計画を前提に今回の財産の購入が行われるという、そういうことでいいんでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 私どもは答えれる範囲は、今のことでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 大宮小学校、これは耐用年数20年ということですけども、この20年間の将来計画といたしますか、それはどういうふうになつとるんでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

小串行政経営部長。

○行政経営部長（小串真美君） 計画というのは、長寿命化のほうの中期計画のほうにも影響してくる話だと思うんですけども、一般的な耐用年数が20年程度なんですけれども、私どもの考えとしましては、現在の大宮小学校の校舎の建て替えのタイミングで、一緒に整理できるようなものがないかなと思っております。20年程度あれば、それが多少前後しても大体同じタイミングで建て替えができるのではないかなと考えております。

あと、予算審議のときにお答えさせていただいて、このたび議決案件になりますので、これ以上の御回答は今回の議案の範囲を超えるかなと考えております。

終わります。

○総務委員長（青木 亮議員） ありがとうございます。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 契約の方法が8者の指名競争入札ということでしたが、落札率はそのぐらいだったでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 89.93%でございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のに関連してですが、89.93%という数字に対する認識をお聞きしたいんですが、競争性が十分働いたというふうな認識でしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 競争性が働いた結果だという認識でございます。
以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、高い購入金額の買物になりますので、そのことについてちょっと聞きたいんですけども、今回プレハブということで、耐用年数約20年ほど、新しい建物を、プレハブですが建てるということで、建築物の省エネ法に基づいた建築物エネルギー消費性能を向上させるために、購入しようとしているこの校舎はどのような対応になってるのでしょうか。省エネ法関連の買物をするプレハブに対して、省エネ法に基づいた、そういった性能はどんな内容になってるのでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） お答えいたします。

特段、何かしら飛び抜けて省エネということを考えていることではございませんが、一般的な断熱や空調設備ということは設置しています。何か飛び抜けて、ほかの建物と比較して、抜けてここだけ省エネということは、決して、そこまでは考慮はしておりません。

先ほどちょっと行政部長から話がありましたとおり、この後の長寿命化改修、建て替えになるのか改修になるのか分かりませんが、そこまでの年数のこともございまして、費用対効果のバランスもございまして、そこまで、省エネということまで大きく考慮した建物ということではございません。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回300平方メートル以下ということで、そういった適合の判定の必要はないんですけども、そういった設計士から施主である市への説明の責任があるかと思うんですが、どういった説明を受けられたのでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） これ、設計といいますが、もともとは参考図面を前回の設計のときに描いて、今回の発注のために絵を描いて、絵というか、図面を描いていただいたのは前回の設計委託でございます。その際に、どこまで仕様としてやりましょうかというお話はその時点ではありましたので、この程度でという、こちらからお答えは

させていただいたものを図面として具現化をして、その図面で今回校舎の購入の発注業務に至ったということでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど断熱ということも、飛び抜けた省エネはないとおっしゃったんですが、断熱材は天井や床下だとか、そういった、どれだけ入っているものを購入するのでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 通常、床下、壁、天井に、厚みはいろいろ規定がありますけど、普通に一般的な住宅等、普通の事務所等、こういう平家とかの事務所等でも使われるような断熱材を充填させている、充填というか、引いてったり詰めたりすることでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、プレハブということによく想像するのが、パネルを持ってきて組み立てるのか、パネルにもそういった内装が施されたものを設置するのか、それとも、後から内装するのか、どういったものの買物でしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 外の構造物につきましても、パネルである部分があれば分解してくる部分もあります。内装は、また外側を組み終わった後に、先ほど言った断熱材を充填したり、内装を貼っていったという形になるということでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、エアコンもつくということですが、新たな再生可能エネルギーの導入の考察はされたのでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 先ほどの省エネの件も含めまして、再生エネルギーの考察までは今回はいたしておりません。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、建物の中の照明はLEDですか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 照明器具はLEDでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、後から内装を手がけるということですが、内装の木質化は考察されましたか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 先ほど、省エネだとかほかのこともありますけど、木質化までは当初から考察はしておりません。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ガラスは断熱ですか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 今の既存の校舎もそのようにはなっておりませんので、通常の学校タイプの強化ガラスということでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 見るからにプレハブ校舎ですか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） その辺りの現場事務所とかというイメージとは違います。そういうものではございません。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） いとう副委員長。

○いとうひろし委員 この建築費は建物1棟だけで、そのの、例えば、本館とつなぐような渡り廊下のそういう費用とか、側溝の費用だとか、そういうのは、外構工事は別なんでしょうか。

○総務委員長（青木 亮議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 今回は、いつも事前に準備工事はいろいろしておりますので、含まれておりません。

また、渡り廊下につきましては、もともと渡り廊下を造らないように、今ある校舎と屋内運動場につながります既存の渡り廊下のすぐそばに校舎を持っていくことによって、もうあえて渡り廊下は、そのの本当につながいで1メートルぐらいということにして、なるべくそういうところの費用を抑えているということでございます。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（青木 亮議員） 以上で質疑を終結、討論に入ります。

討論ある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 議案第55号 財産の買入れについて、反対の立場で討論をいたします。

詳しくは本会議場でやりますので要点だけにしますが、私が一番気になっているのは、間米区画整理がそこで行われると、そのことが地域には大きな影響をこれから及ぼしてくるということになると思います。

それで、もう既に区画整理の規模なんかも決まっておりますので、ちゃんとした見込みを立てて、それとの整合性を図って学校の施設整備を進めていくべきことだと思いますけれども、これは、プレハブの設計の予算が上げられたときにもそういう質問をしましたがけれども、ほとんど答弁はありませんでした。それで、今も審査の範囲を超えとかというようなことで、何も答えていただいております。この施設が、大宮小学校に適切なのかどうなのかという判断ができないというのが一番大きな理由です。

もう一点は、買入れ価格53万、これはプレハブとしてはかなり高い価格かなというふうに思っております。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 では、議案第55号について、賛成の立場で討論をいたします。

ホームページですが、内藤ハウスさんについて少し調べさせてもらいました。事例を見る限りでは、大型のそういった工場であるだとか、あとは自走式の立体駐車場、こういったものも多数手がけられておりますので、施工等々に関して問題はないかなというふうに思っております。

費用の面なんですけども、今日びハウスメーカーさんでの軽量鉄骨のプレハブ造でいくと、平均で坪単価100万を超えてくる、水回り入れてですけど、そういった時代になっておりますので、水回りなしで坪単53万であれば妥当かなというふうには理解しております。

何よりも放課後のことを考慮して、早く子どもたちの安全な場所を確保するためにこういった議案が出されております。なので、現時点での児童数、周りの環境、そういったものを全て考慮された上でこういった議案が上程されているというふうに私、理解しておりますので、賛成であります。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 賛成討論をさせていただきます。

内藤ハウスさんは、事前に私も若干調べさせてもらったですけど、かなりプレハブの大手メーカーでありますし、そういう点では、事業自体信用できる企業かなと。買入れ価格も坪単価53万といえ、今の御時世の中では、非常に入札が効率的に実施されたのかなというふうに判断しています。

それから、南部区画整理組合との関係も、先ほどの回答では、今のところ想定してないという回答でしたので、当然、今の時点ならその回答であろうというふうに思います。したがって、賛成といたします。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 議案第55号について、反対の立場で討論いたします。

詳しくは本会議場ですけれども、1点目は、競争性の部分が十分働いているという認識のお答えでしたが、疑問を持ちます。坪単価53万円というのも、先ほど、今の御時世というお話もありましたが、それでも水回りがいい状態とすると素人的に見ても高いんじゃないかという。競争性が十分働いているとはちょっと思いませんでした。

あと、これから、幾らプレハブでも20年は耐用年数ということで、何十年って使うわけですので、そういった省エネ、再エネを加味したものを造ることの考察がされていないというのはどうしてなんだろうと。考察した結果、これをやめた、これをやるというのはあるんですが、考察がされていないというところも、ちょっと欠けているという点でも反対とさせていただきます。

以上です。

（進行の声あり）

○総務委員長（青木 亮議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第55号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○総務委員長(青木 亮議員) 賛成多数であります。よって、議案第55号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第56号 令和4年度豊明市一般会計補正予算(第5号)についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について、理事者の説明を求めます。

中田課長。

○公共施設管理課長(中田勝次君) それでは、公共施設管理課所管の補正予算について御説明いたします。

補正予算書6ページ、7ページをお開きください。

上段、2款 総務費、1項7目4 公共施設管理事業1億25万1,000円についてです。

右の説明欄1行目、福祉体育館空調設備改修工事費5,342万4,000円は、福祉体育館のうち、老人福祉センター及び中央児童館以外の福祉体育館部分における個別空調機器の更新及び冷却塔を更新するための費用でございます。

2行目、保育園空調設備改修工事2,644万9,000円は、今現在、更新中でございます中部保育園及び民間移行を予定している内山保育園を除きます計6園のうち、一部の空調設備を更新するための費用でございます。

3行目、小中学校空調設備改修工事2,037万8,000円は、小中学校の保健室、職員室及び校長室の空調設備の更新をするための費用でございます。

以上で公共施設管理課所管分の説明を終わります。

○総務委員長(青木 亮議員) 萩野財政課長。

○財政課長(萩野昭久君) 続いて、財政課所管部分について御説明申し上げます。

4ページ、5ページをお願いいたします。

歳入、18款 繰入金の財政調整基金繰入金1億188万5,000円は、このたびの補正予算の一般財源となるものです。

以上で説明を終わります。

○総務委員長(青木 亮議員) 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 6、7ページです。

エアコンですね。これは同じ工事の期間はどのぐらい予定してますか。

○総務委員長（青木 亮議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） この予算をお認めいただきましたら即取りかかりまして、10月の末ぐらいから来年の3月の頭ぐらいまでを予定していますが、機械の製造の関係がありますので、実際に現場に入るのは年末から年明けになってくるというふうに認識しております。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（青木 亮議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 議案第56号、補正予算の第5号、本会議で、私どもの会派でいろいろ細かい質問をしましたので、今、委員会では質問しませんでしたけれども、この予算は、一番大きいのは福祉体育館、保育園、それから、小中学校の空調、これ、合計すると111台、金額では1億円を超えるという大変大きな事業です。こういう事業がぽっと補正に出てくるのかと。補正というのは、緊急、突発の支出に応じるための制度であって、こういうものがどうして補正に出てくるのかということが私は全く納得ができません。

それから、強いて言えば、理由としては、コロナの交付金が入ってくるんで、それをこの事業の財源に充てたいというような、そういう御説明でしたけれども、コロナの交付金というのは、コロナ禍で苦しんでいる人々に対する事業に使うべきもので、古くなった空調の改修などというのは、市の自前の財源でやるのが当たり前のことなんですよね、計画的にきちんとやってくるのが。

そういうコロナ禍に苦しんでいる人たちのことを何も考えずに、こういう事業に便乗して市の財源で、自前の財源でやるべき事業をやるというのは、全く見当外れだというふうに私は思いますので、反対といたします。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 議案第56号の総務委員会所管部分について、賛成の立場で討論いたします。

空調設備の更新改修工事ということがメインだということなんです。私、うちも事業を

やっております、コロナでやはり窓を開けっ放しにしないといけない状況がずっと続いている。その中でも、暑いとエアコンをたかないといけないんですね。すぐく機器のほうにも負担がかかっているのかな。ちょっと効率よく空間を冷やしながら換気もしないといけない、そういった御時世にある中で、コロナ財源を使うというのも理解はできます。

結構、空調を使えないと、本当に苦痛でだけではなくて本当に命に関わってくるということもありますので、そういった市民目線にも立って組まれているのかなというふうに理解しておりますので、賛成です。

以上です。

○総務委員長（青木 亮議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（青木 亮議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第56号のうち本委員会所管部分について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○総務委員長（青木 亮議員） 賛成多数であります。よって、議案第56号のうち本委員会所管部分については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（青木 亮議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査御苦労さまでした。これにて総務委員会を閉会いたします。

午前11時39分閉会